

森林の根系が持つ表層崩壊防止機能



林野庁 森林整備部 治山課

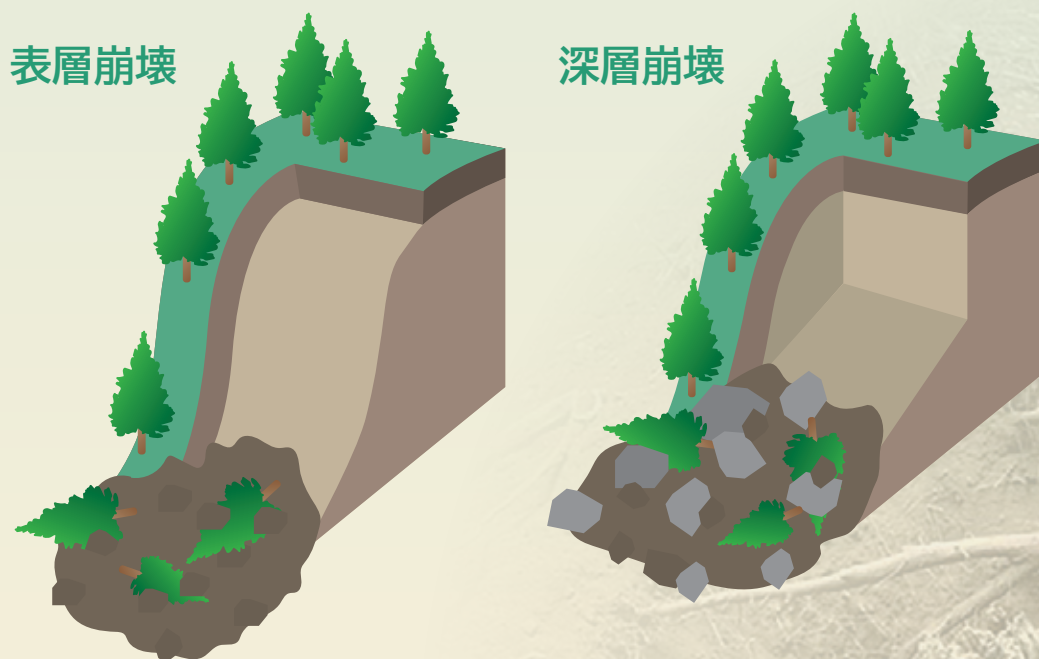
森林の表層崩壊防止機能と根系

日本は国土の約3分の2を森林が占めており森林が持つ多面的な機能の恩恵を受けています。その中でも、近年は豪雨や台風などにより山地災害が増加していることで、森林の表層崩壊防止機能が注目されています。この資料では森林の表層崩壊防止機能とその機能を主に発揮する樹木根系について解説します。

山地で発生する崩壊の種類

豪雨や台風によって山の斜面が崩れることを斜面崩壊といいます。斜面崩壊は発生の仕組みや土砂の動き方などにより何種類かに分類されますが、その中でも森林と関係するのが崩壊の深さです。斜面崩壊は、崩壊の深さや規模に応じて「表層崩壊」「深層崩壊」の2つに分類されます。

森林はこれらの崩壊のうち、「表層崩壊」を防止する機能があります。



	表層崩壊	深層崩壊
規模	小規模	大規模
崩壊の深さ	浅い	深い
崩壊した土質	表層土	基盤
地質	地質との関連が少ない	地質、地質構造との関連が大きい
森林の影響	ある	ない